

2024年度 北海道大学大学院 文学院修士課程入学試験（前期）

試験区分	☒ 一般入試 ☒ 外国人留学生特別入試 ☐ 社会人特別入試（後期のみ）
試験科目名	専門試験（ 映像・現代文化論 ）
出題の意図	問題Ⅰ 映像・現代文化、日本近現代文学・思想に関する基本的な知識を問う。 問題Ⅱ 映像・現代文化、または日本近現代文学・思想に関する論文を読解し、自分の意見を論述することにより、専門分野に関する理解力と表現力を問う。 (A) 日本の「サラリーマン」の精神構造とその歴史的変遷をめぐる考察に関する問題 (B) 映画をめぐる思考と感性を「変化」させたものは何かをめぐる考察に関する問題

2024年度
北海道大学大学院文学院修士課程入学試験問題（前期）
（専門試験） 映像・現代文化論 全8枚のうち1枚目

この試験では、試験問題 8枚、解答用紙 4枚を配付する。

- ・ 解答は問題Ⅰと問題Ⅱについて、別々の解答用紙に記入すること。
 - ・ 問題Ⅱは、A・Bの中から一つを選んで解答すること。
-

問題Ⅰ

次の1～6の中から二つを選択し、選択番号を明記した上で解答しなさい（各400字程度）。

1. 『四季』派の特徴について詩人名・詩集名を挙げて説明せよ。
2. 日本近代文学の作家における海外渡航の意味について、作家名・作品名を挙げて説明せよ。
3. サルトルが日本の文学・思想に与えた影響について、具体的に説明せよ。
4. ミュージカル映画の物語進展における特異な点について説明せよ。
5. 映画撮影で使う「カチンコ」という道具について説明せよ。
6. 俳優に台詞の棒読みを強いる映画演出の目的について説明せよ。

問題Ⅱ A

次の文章は、鈴木貴宇『〈サラリーマン〉の文化史——あるいは「家族」と「安定」の近現代史』（青弓社、2022年）の一節である（設問の都合により、一部を省略した）。（1）この文章の内容を要約しなさい（250字程度）。（2）〈サラリーマン〉表象の特質について、問題文との関連性に留意しつつ、具体的な作家・作品を挙げて論じなさい（800字程度）。ただし、研究計画書で取り上げた作家・作品との重複はできるだけ避けること。

＊ 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学研究科教務担当の窓口で閲覧してください。

出典 鈴木貴宇『〈サラリーマン〉の文化史』、青弓社、2022年、432-437頁。

問題Ⅱ B

次の文章は、蓮實重彦「21世紀の映画論」（『映画論講義』、東京大学出版会、2008年）の一節である。（1）この文章の内容を要約しなさい（250字程度）。（2）下線部の「視覚的な効果の優位から物語の優位へ」について、昨今の映画事例を挙げながら論じなさい（800字程度）。ただし、研究計画書で取り上げた作家・作品との重複はできるだけ避けること。

＊ 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学研究科教務担当の窓口で閲覧してください。

出典 蓮實重彦『映画論講義』、東京大学出版会、2008年、325-329頁。

